



# 2021年度 岡山商科大学孔子学院 中国語スピーチコンテスト

第1回 全日本中国語スピーチコンテスト 岡山県大会

中国語学習の普及と質の向上を目指し、  
日中両国民の相互理解と  
友情を深めていきましょう。



**日時** 2021年**10月2日(土)** 13:00～(受付12:00～)

**会場** 岡山商科大学孔子学院(岡山市北区津島京町2-10-1 岡山商科大学内)

**資格** 中国国籍以外で、かつ中国語を母国語としない者

**部門** スピーチ部門(一般部門、大学生部門、高校生部門)

◆自由テーマ(5分以内)

朗読部門(一般の部、大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部)

◆課題文(岡山商科大学孔子学院ホームページ参照)

**表彰**

各部門優秀者を表彰します。

優秀者の中から、公益社団法人日本中国友好協会の参加資格等を考慮の上、全国大会へ推薦します。

**申込期間 / 2021年9月17日(金)まで**

**応募方法**

裏面をご覧ください。

・申込用紙に、氏名・連絡先等必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて孔子学院宛てに送付して下さい。

●**申込先**

**住所** 〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1

(郵送、FAX、メール可)

**FAX** 086-255-6947

**E-mail** koushigakuin@po.osu.ac.jp

- ◆主催 / 岡山商科大学孔子学院、岡山県日本中国友好協会
- ◆共催 / 岡山商科大学、大連外国語大学
- ◆後援 / 中国駐大阪総領事館、岡山県、岡山市教育委員会、岡山市日中友好協会、倉敷市日中友好協会、玉野市日中友好協会、笠岡市日中友好協会、新見市日中友好協会、岡山県国際交流協会、岡山県華僑華人総会

孔子学院の  
HPはコチラ!



**お問い合わせ**

●岡山商科大学孔子学院 TEL.086-256-6670 <http://www.okayama-koushi.com/>

●岡山県日本中国友好協会 TEL.086-201-8844 **E-mail : jcfa-okayama@crest.ocn.ne.jp**

岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター6階 (NPO) 岡山県国際団体協議会内



# 朗読部門

## 課題文

【中学生・高校生の部】

【一般の部】

【大学生・大学院生の部】

## 【中学生・高校生の部】

### <为什么耳朵最怕冷？>

在人体的各个部位中，就数耳朵最怕冷了，这是因为耳朵里分布着末梢毛细血管。人体中，血液从心脏泵出后，沿着大动脉向中动脉、小动脉直至毛细血管流动，越是到毛细血管末梢里，血液越少，自然能量和热量越少。再者，耳朵虽然相对于身体其他部位体积小，但相对表面积却很大，所以热量很容易挥发。打个比方，同样两个玻璃杯装满热水，其中一个用布裹上，只留个杯口，经过一段时间时，你会发现没用布裹住的玻璃杯里的水比裹了布的玻璃杯里的水要凉得快。耳朵也正是由于这个原因，冬天里最怕冷。而且，当身体穿上厚厚的冬衣时，耳朵却无法罩得严实。当凛冽的寒风从耳边呼呼掠过，将耳朵的热量也带走了，自然耳朵会感到冷了。

(<https://www.tn21.com/Article/wai/zhi shi / shi wan/ 68. htm>)

## 【一般の部】

### <你会怎么选择>

请你做一道题，看你是不是一个聪明人。

这是一家大公司的总裁在招聘职员时亲自出的一道题目 ——

你开着一辆豪华汽车，在一个暴风雨的晚上，经过一个车站。有三个人正在焦急地等公共汽车。一个是病得很重的老人；一个是医生，他曾经救过你的命，你做梦都想报答他；还有一个是你一见钟情的异性，如果错过了，你一辈子都会后悔。但你的车只能再坐一个人。你会怎么选择？请解释一下你的理由。

你可以做自己的决定，没有人会责备你。不过，当你做出一个选择后，问一下自己：我这样做是最好的吗？

在 200 个应聘者中，只有一个人的答案符合总裁的要求，他被录取了。

他并没有解释自己的理由，他只是说了下面的话：“把车钥匙给医生，让他带着老人去医院，我留下来陪一见钟情的人等公共汽车。”

傅由编著<发展汉语>(第二版)中级听力(I)北京语言大学出版社

## 【大学生・院生の部】

### <带着挫折出发>

傍晚，我孤独地行走在幽静的小路上，雨水，早已打湿我的头发。那种冰冷的感觉，已穿透我的肌肤，一直侵袭到我的心底。

风呼呼作响，携带着寒气从我的脸上划过。脑海里不断浮现课堂上答不出问题的一幕，试卷上的红叉和低得可怜的分数一刻不停地浮现在我眼前。心，沉重得像搁了一块石头。

一只受伤的蜻蜓突然闯入我的眼帘：一对透明的翅膀已经折断，雨水沾满全身，三对细足努力挣扎，试图飞起来，但根本不是强风的对手。我的心一下子颤了：这只蜻蜓不正是我吗？

它又进行了第二次试飞，极努力地，但终于还是逃不出摔倒在地的命运。我不忍心再看它的惨状，将视线转移到了别处。

突然，它一跃而起，艰难地向高空飞翔。这一次它成功了，飞得那么高，那么远。

风依然凌厉地刮着，雨依然绵绵地下着，而我心中的那块石头已经落下了。谢谢你，小蜻蜓，是你给了我信心和勇气。从此以后，我会带着这份信心与勇气，向着挫折，再次出发！

(<https://www.eduxiao.com/t/94576.html>)

# 第39回全日本中国語スピーチコンテスト 開催要項

## 1. 目的

日本における中国語学習の普及と質の向上を目指し、日中両国民の相互理解と友情を深めることに寄与することを目的とする。

## 2. 開催時期・会場

日時：2022年1月9日(日) 10:00 開会  
10:20 午前の部 スピーチ高校生部門  
スピーチ一般部門  
12:15 休憩  
13:15 午後の部 スピーチ大学生部門  
朗読部門(朗読披露)  
成績発表・表彰式  
17:00 閉会 (時間はいずれも予定)

会場：東京・飯田橋日中友好会館地下大ホール

## 3. 主催・後援等

主催：公益社団法人日本中国友好協会

— 以下申請予定 —

後援：外務省、文部科学省、日本放送協会、読売新聞社、共同通信社、(公財)国際文化フォーラム  
中国大使館、中国教育部、中日友好協会、人民中国雑誌社

協賛：孔子学院本部/中国国家漢弁

特別協力：(公財)日中友好会館

協力：日本国際貿易促進協会、(一財)日本中国文化交流協会

日中友好議員連盟、(一財)日中経済協会、(一社)日中協会

## 4. 部門について

スピーチ部門(大学生部門、高校生部門、一般部門)、朗読部門(大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部、一般の部)の2部門とする

# スピーチ部門

## 1. 全国大会の出場について

3部門からなり、出場者数は「大学生部門」10名程度、「高校生部門」6名程度、「一般部門」6名程度とする。

※上記出場者数以上のエントリーがあった場合には、あらかじめ委嘱している審査員による1次審査(都道府県大会時の音源審査)を行い、全国大会への出場者を決定する。

※専門学校生、高専4年生以上は大学生部門とする。

## 2. 参加資格

全国大会へは以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

### ■3部門共通条項 ——

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 中国語を母語(\*注1)とする者
- ③ 両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④ 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者
- ⑤ 中国語を日常語とする地域に通算13ヶ月以上留学または滞在したことのある者
- ⑥ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦ 過去、全国大会において優勝した者

\*注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)

### ■「大学生部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 日本の大学(含短大)、大学院、専門学校(\*注2)、高専4年生以上に在学していない者
- ② 出場時の年齢が30歳以上の者(「一般部門」から出場すること)

\*注2 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す

### ■「高校生部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 日本の高校に在学していない者

### ■「一般部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 2006年4月2日以降に生まれた者(すなわち中学生以下)
- ② 大学、大学院、専門学校(専門学校については大学生部門条項\*注2を参照)に在学している者(ただし、出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない)

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

## 3. 都道府県大会から全国大会へのエントリー方法

- ・ 都道府県大会の優秀者の中から「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」各1名を全国大

会出場者として推薦する。ブロック内で行う場合は、各県がそれぞれ推薦枠を有しても可。

- ・3部門のいずれかのみへの推薦も可とする。
- ・一つの部門へ複数名の推薦は不可とする。
- ・各部門ともに以下の書類を **11月5日(金)必着** で全国大会事務局に提出する。(下記①④⑤は後日、全国大会事務局より各都道府県大会事務局へメール添付にて送付)
  - ① エントリー用紙(都道府県大会事務局用)
  - ② 都道府県大会時のスピーチを録音した音源(本人分を抽出しデータにて提出すること)
  - ③ スピーチ原稿データ(中国語と日本語各1通) 原稿は内容集他に掲載し、著作権は主催者に帰属します。
  - ④ エントリー用紙(出場者用)(word フォーム)
  - ⑤ エントリーフォーマット(excel フォーム)

- ※ **エントリーの際に提出するスピーチの音源は、必ず都道府県大会時に録音したものを送ること。後から収録したものは審査の対象外とする。また、原稿の変更も不可とする。**
- ※ **音源は本人分のみをデータにてメール添付で提出のこと。**
- ※ **発表原稿は過去未発表のものとする。**

#### 4. テーマおよび審査

**\*テーマ:「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」ともに自由テーマ(5分以内)**

— 参考(前回の受賞者のテーマ) —

第38回 「大学生部門」/「交流の意義」「2020:コロナ下での私の挑戦」「北京が教えてくれた事」

「高校生」/「遙かなる未来を切り開いて」「中国からの友達」「道半ばで終わりをむかえた留学生活」

「一般部門」/「好きこそもの上手なれ」「自分は自分」「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

#### **\* 審 査**

**1 次 審 査** … 「大学生部門」へ10名以上、「高校生部門」へ6名以上、「一般部門」へ6名以上のエントリーがあった場合には、あらかじめ委嘱している全国大会審査員による音源審査を行い、全国大会への出場者を決定し、12月上旬までに本人と都道府県大会事務局に通知する。

#### **全国大会の審査(全部門共通)**

- ・各人のスピーチ(原則として原稿は見ないこと)と審査員による質疑応答(1分前後)を行う
- ・審査基準：
  - ① 正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか
    - ※ただし歌などのパフォーマンスは不可
  - ② テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か
  - ③ 内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか
- ・審査員：平井和之(日本大学教授)、在日中国人教授ほか

#### 5. 表 彰

- ・スピーチ終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。

大学生部門 … 第1位 ～ 6位

高校生部門 … 第1位 ～ 3位

一般部門 … 第1位 ～ 3位



・1位～3位には後援・協力団体賞等を授与する。また、全出場者の中から「日中友好協会会長賞」を選ぶ。

※ 予定後援・協力団体賞等は以下のとおり

「外務大臣賞」、「中日友好協会賞」、「文部科学大臣賞」、「中国教育部賞」  
「中国大使賞」、「読売新聞社賞」、「日本放送協会会長賞」、「人民中国雑誌社賞」  
「共同通信社賞」、「日中友好会館賞」、「国際文化フォーラム賞」

## 朗 読 部 門

### 1. 目 的

中国語学習を始めて一定期間以内の者を対象とし、更なる中国語の普及と質の向上を目的とする。

### 2. 全国大会の出場について

3つの部からなり、出場者数は「大学生・大学院生の部」「中学生・高校生の部」「一般の部」の3部よりそれぞれ3名程度とする。

※小学生以下は「中学生・高校生の部」から出場すること。

### 3. 参加資格

全国大会へは以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

#### ■3部共通条項 ——

- ①日本国籍を有しない者
- ②中国語を母語(\*注3)とする者
- ③両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者
- ⑤中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在(含・留学)した経験のある者
- ⑥業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦高校、大学、専門学校において中国語を専攻している者(過去に専攻していた者も含む)の内で都道府県大会出場時に学習期間2年を超えている者。
- ⑧専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習)の内で都道府県大会出場時に学習期間4年を超えている者。ただし、「一般の部」出場者に関しては、60歳以上で初めて中国語学習を始めた者は学習期間を問わない。

\*注3 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)

#### ■「大学生・大学院生の部」のみの出場不可条項 ——

- ①日本の大学(含短大)、大学院、専門学校(\*注4)、高専4年以上に在学していない者

\*注4 専門学校とは「専門士」の資格を与えられる学校を指す

②出場時の年齢が30歳以上の者(「一般の部」から出場すること)

■「中学生・高校生の部」のみの出場不可条項 ——

① 日本の中学、高校に在学していない者

**※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。**

#### 4. 都道府県大会から全国大会へのエントリー方法

- ・都道府県大会の優秀者の中から「大学生・大学院生の部」「中学生・高校生の部」「一般の部」各1名を、全国大会での朗読発表者として推薦する。
- ・3部のいずれかのみへの推薦も可とする。
- ・一つの部へ複数名の推薦は不可とする。
- ・3部ともに、以下の書類を11月5日(金)必着で全国大会事務局に提出する。(下記①③④は後日、全国大会事務局より各都道府県大会事務局へメール添付で送付)
  - ① エントリー用紙(都道府県大会事務局用)
  - ② 都道府県大会時の朗読を録音した音源(本人分を抽出し、データにて提出すること)
  - ③ エントリー用紙(出場者用)(word ファイル)
  - ④ エントリーフォーマット(excel ファイル)

**※ エントリーの際に提出していただく朗読の音源は、必ず都道府県大会時に録音したものを送ること。後から収録したものは審査の対象外とする。**  
**※ 音源は本人分のみを「データ」にてメール添付で提出のこと。**

#### 5. 課題文および審査

\*課題文:5月中に各都道府県大会事務局へ送付する。

\*審査

提出された音源による審査を行う。入賞者(優秀者)各部3名(合計9名)(\*注5)を選抜した後、内、最優秀者各部1名(合計3名)を決定する。審査結果については、12月上旬までに本人と各都道府県大会事務局に通知する。

- ・審査基準:発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。
- ・審査員:平井 和之(日本大学教授)、在日中国人教授 ほか

\*注5 エントリー数が少ない場合、また、入賞のレベルに達しない場合は、この数の限りではない。

#### 6. 朗読発表および表彰

- \*入賞者の表彰と朗読発表は、スピーチコンテストの休憩時間(スピーチ部門の判定会議の時間)を使って行う。
- \*朗読中、課題文を見ることは構わない。
- \*入賞者には賞状、記念品を授与する。また、最優秀者には後援・協力団体賞として「孔子

学院賞」を授与する。

## 公益社団法人日本中国友好協会

〒111-0043 東京都台東区駒形1-5-6 金井ビル

Tel : 03-5811-1521 Fax : 03-5811-1532

e-mail: [speech@j-cfa.com](mailto:speech@j-cfa.com)